

地域ネットワークニュース

～平成28年8月の勉強会のお知らせ & 7月の勉強会報告～

第223回 地域ネットワーク勉強会

高次脳機能障害者への支援とポイント ～支援機関の事例を通して～

社会福祉法人木犀会 ケアステーションポプラ
管理者 谷畑 真理子氏

8月26日(金)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内
参加費無料

高次脳機能障害とは、病気や事故などで受けた脳損傷により、記憶や言語、思考等に障害のある状態です。福祉制度の中では、精神障害に位置づけられており、生活のリズムを整える、生活訓練を受けることなどを目的に生活介護事業所や就労継続支援B型事業所といった福祉サービスを利用する方も増えてきています。

近年、高次脳機能障害に対する社会的認知は広まりつつありますが、目に見えづらい障害であることからまだまだ見過ごされている傾向にあります。そのため、関わる支援者が下記に記した一例にあるような障害特性を捉え、個々に合った支援を進めることで対象者の機能回復や生活の充実に繋がります。また、その特性を理解することは他の障害者への支援にも活かせることが多々あります。

今回の勉強会では、主に高次脳機能障害のある方を支援する“ケアステーションポプラ”の担当者を講師としてお招きし、障害の特性や関わり方、同施設での取り組みや事例を通じた実際の支援のポイントについてお話しいただきます。障害福祉事業所や医療機関のスタッフや家族など、多くの方のご参加をお待ちしております。

* 高次脳機能障害の特性（一例）

【記憶障害】新しいできごとを覚えられない、作業中に声をかけられると何をしていたか忘れてしまう。

【遂行機能障害】物ごとを順序だてて実行することが苦手。

【左半側空間無視】半分の空間を認識できなくなり左側の食べ物を残す、歩行の際に右側に寄っていく。

※事前申し込みが必要です。別紙申込書もしくは電話にてお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦・高岡 電話 0299-93-0294



第222回 地域ネットワーク勉強会報告 平成28年7月21日開催
<参加者8名>

障害者の就労支援のポイントと職業評価

講師：茨城障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 石井賢治 氏

障害がある方は生活習慣や家族等の協力体制など、様々な環境要因が仕事や行動に影響を与えていることが多々あるため、広範囲な情報収集が重要です。

「対象者が充実した職業生活を送れるようになることが最大の支援目標となります。そのために対象者の現状を正しく捉え、必要な支援を構築していく基礎資料が職業評価です。感覚や印象ではなく、具体的な行動で本人の作業能力を把握すること、得意・不得意以外にも確実にやれることや安定的にこなせることなどの‘セールスポイント’を探り、本人にフィードバックしながら自己決定に任せられることが大切です。」と、就労支援のポイントとアセスメント（評価）の考え方をセンターで実際に使用しているツールの紹介と体験を交えて伝えて頂きました。